

——— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 ———

## 使用上の注意改訂のお知らせ

複合ビタミン剤

# プレビタ<sup>®</sup>S 注射液

このたび複合ビタミン剤 **プレビタ S 注射液**につきまして、自主改訂に基づき、**使用上の注意**を下記のとおり改訂致しましたので、お知らせ申し上げます。

平成29年7月



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

記

### プレビタ S 注射液

#### 1. 改訂箇所

下記のとおり、使用上の注意の[適用上の注意]の項を改訂しました。

#### 2. 改訂内容（自主改訂）

改訂後	改訂前
<p><b>3. 適用上の注意</b></p> <p>(1) 省略 変更なし</p> <p>(2) <b>調製時</b>：<u>本剤は、アミノ酸製剤と混合した場合、ビタミンの分解が促進されることがあるので注意すること。</u></p> <p>(3) <b>投与速度</b>：<u>静脈内投与により血管痛を起こすことがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。</u></p> <p>(4) <b>投与时</b>：<u>ビタミンの光分解を防ぐため、遮光カバー（橙黄褐色ポリエチレン製カバー等）で輸液瓶又は輸液バッグを被覆して使用すること。</u></p>	<p><b>3. 適用上の注意</b></p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) <b>静脈内注射時</b>：<u>静脈内投与により血管痛を起こすことがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。</u></p>

（ \_\_\_\_\_ 部：改訂箇所）

### 3. 改訂理由（自主改訂）

使用上の注意の[適用上の注意]の項を改訂しました。

#### ○調製時：

本剤の成分のチアミン（ビタミンB<sub>1</sub>）は、アミノ酸製剤の安定化剤として含有されている亜硫酸水素ナトリウムに対して不安定であることから、本剤とアミノ酸製剤を配合した場合の注意を追記しました。

#### ○投与時：

本剤の成分のアスコルビン酸（ビタミンC）は、リボフラビン（ビタミンB<sub>2</sub>）と共存下、光に対して不安定であることから、本剤を輸液に混合して投与する場合、光分解を防止するため、輸液瓶又は輸液バッグを遮光カバーで被覆する旨の注意を追記しました。

○「静脈内投与により血管痛を起こすことがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。」の見出しを、静脈内注射時 → 投与速度 に記載整備しました。

4. 本情報はDSU（医薬品安全対策情報）No. 261（平成29年7月下旬発送予定）に掲載されます。

☆添付文書情報は、「医薬品医療機器総合機構ホームページ（URL：<http://www.pmda.go.jp/>）及び弊社ホームページ（URL：<https://www.fuso-pharm.co.jp/>）」においてご確認いただけます。